

警察庁によると、2017年にSNSなどの交流サイトを介して犯罪被害に遭った18歳未満の子どもは1813人(前年比4.4%増)で過去最多でした。

被害者の年

齢別では、16歳が447人

で最も多く、17歳417人、15歳388人、14歳277人の順で、中高生が89.2%を占めました。

被害に遭ったサイトは、ツイッターが最多の695人で、「ひま部」181

子どもの交流サイト被害

人、LINE(ライン)105人、「ぎゅるる」97人で、被害者の87.7%がスマホでサイトに接続していました。

罪種別では、淫行など青少年保護育成条例違反が702人で最も

多く、裸の画像を送信させるなどした児童ポルノが570人、児童買春が447人で、性犯罪が大半を占めました。

子どもにはフィルタリング機能を活用しましょう。

防犯一口メモ